

第二回（九月）定例会では、十二人の議員が市政について質問しました。

一般質問

議員名	主な質問項目	掲載頁
渡部一二実	男性育休取得率向上、公的認証の有効活用	6
渡邊 博夫	SDGs 推進、気候変動、質の高い教育、製造業、物価高騰	6
小澤 隆	防災、ペットの同伴避難、移住推進	7
井原三千雄	中心市街地の活性化、依存症対策、100周年記念事業	7
佐野 博一	自治会活動の在り方、交流人口拡大の取組	7
片岡 章一	高齢者の移動支援、デジタル支援、不妊治療費助成、学習支援	7
小泉 宣子	学校図書館の充実について、小中学校の教室へのエアコン設置	8
大川敬太郎	農業振興、鳥獣害対策、設備投資促進、女性の起業支援	8
平野 謙	会計年度任用職員制度の運用	8
川口 慶	交流人口の活用、インボイス制度の対応	8
山下富美子	海岸漂着ごみと市民活動、行政との連携・協力・支援	9
江本 浩二	地元食材の利用、学校給食費無償化、オーガニック化	9

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録音映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~~）については、P.9の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

本市の製造業の活性化及び企業誘致に係る取組は

問 本市の持続的な成長に向け、①製造業の活性化の対策は。②企業誘致の対策は。

答 産業振興部長／①製造業の持続的な成長には、地域経済の変化に迅速かつ的確に対応し、企業の経営基盤強化に努める必要があるため、利子補給制度の実施や専門家によるサポートを行っている。さらに、新技術や新製品の開発・販路拡大・先端設備導入への支援等を行い、意欲ある事業者の経営基盤の強化を進めている。②企業誘致の推進に当たっては、進出事業に合った用地の確保や

事業者に合わせて支援が必要である。そのため、各種補助制度による資金援助に加え、宅地建物取引業協会と連携した進出可能用地の把握や、企業訪問により進出計画や進出条件の共有などを行っている。また、より多くの事業者の要望に対応できるように、インターチェンジ周辺などの需要が高い地区については、用地確保に向け調査・検討が続いている。今後、継続的な情報収集や効果的な支援策を検討し、雇用創出の確保や地域活性化に寄与する企業立地を積極的に推進していく。

渡邊 博夫



男性の育児休業取得率向上に向けた戦略は

問 本市男性職員の育児休業取得率向上について、①令和四年度の取組内容と実績は。②令和五年度の目標必達に向けた戦略は。

答 総務部長／①所属長による職員の休業取得予定の定期的な確認をし、育児休業取得計画及び業務遂行計画の作成を義務づけるとともに、説明会の実施や休業の給与等への影響を例示した資料の紹介等を行った。これにより、令和四年度の取得率は二十三・九%となり、令和三年度から九・六ポイント上昇した。②休業の取得を勧奨するため、市長から職員

へメッセージを発信するとともに、対象職員を把握するため、所属長に対し調査を実施している。また、対象となる全ての男性職員が取得できるように、所属長が面談を行い、業務分担や取得時期の調整を行っている。

問 男性の育児休業取得について、市内企業に対する取組は。

答 市長／積極的に職場環境の整備に取り組み企業を男女共同参画認定事業所として認定・紹介するとともに、多様な働き方の推進に向けたセミナー開催などにより、男性の育児休業に対する意識改革を図っていく。

渡部 一二実

